

猿害対策はレンタカウの放牧で！

「大枝柿」の産地である京都市西京区大枝地区は、近年、猿による被害が増加し、この対策として、レンタカウによる放牧の実施要望を受け、地元の人や関係機関とともに現地調査を行いました。

なお、レンタカウは、6月から放牧することとしています。



柿林の外周を伐採してバッファゾーン(緩衝地帯)とし、牛を放牧

畜産技術センター
碓高原牧場